

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-22434

(P2010-22434A)

(43) 公開日 平成22年2月4日(2010.2.4)

(51) Int.Cl.

A63F 7/02 (2006.01)

F I

A63F 7/02 304D

テーマコード (参考)

2C088

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2008-184141 (P2008-184141)
 (22) 出願日 平成20年7月15日 (2008.7.15)

(71) 出願人 000161806
 京楽産業、株式会社
 愛知県名古屋市中区錦三丁目24番4号
 (74) 代理人 100085660
 弁理士 鈴木 均
 (72) 発明者 鈴木 康剛
 愛知県名古屋市中区錦三丁目24番4号
 京楽産業、株式会社
 内
 Fターム(参考) 2C088 EA29 EB78

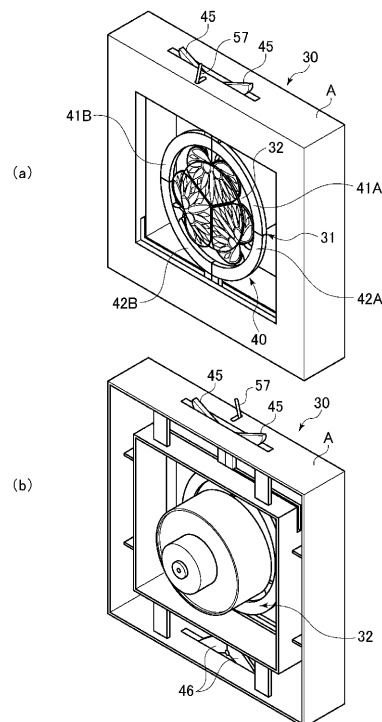
(54) 【発明の名称】 装飾体ユニット、遊技盤、及びパチンコ遊技機

(57) 【要約】

【課題】可動盤面部品（装飾体）を、単純動作する本体部分と、本体部分に付設されて本体部分の動作変化に応じて出没、開閉動作することにより可動盤面部品の全体形状に大きな変化を与える開閉機構と、から構成した装飾ユニットを提供する。

【解決手段】装飾体31は、遊技盤面上に配置された主装飾部材32と、主装飾部材の外径方向に配置された可動装飾部材40と、主装飾部材の背面側に退避した閉止位置と外径側に突出した開放位置との間を開閉自在に支持された開閉片75を備えた開閉機構70と、を備え、可動装飾部材は、複数の可動装飾片、及び該可動装飾片を駆動する駆動機構から成り、複数の可動装飾片は、遊技盤面と並行な方向へ開閉自在に軸支され、閉止位置にある時に主装飾部材に近接し、開放位置にある時に主装飾部材から離間した位置にある。

【選択図】 図3



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

遊技盤上に沿って配置された装飾体を備えた装飾体ユニットであって、

前記装飾体は、前記遊技盤面上に配置された主装飾部材と、前記主装飾部材の外径方向に配置された可動装飾部材と、前記主装飾部材の背面側に退避した閉止位置と外径側に突出した開放位置との間を開閉自在に支持された開閉片を備えた開閉機構と、を備え、

前記可動装飾部材は、複数の可動装飾片、及び該可動装飾片を駆動する駆動機構から成り、

前記各可動装飾片は、遊技盤面と並行な方向へ開閉自在に軸支され、該各可動装飾片は閉止位置にある時に前記主装飾部材に近接し、開放位置にある時に前記主装飾部材から離間した位置にあり、

前記駆動機構は、前記 2 つの可動装飾片を閉止方向へ付勢する弾性部材と、該 2 つの分割可動装飾片を開放位置にてロックすると共に、ロック解除時に前記 2 つの可動装飾片を前記弾性部材の付勢力により閉止位置に移動させるロック手段と、を有していることを特徴とする装飾体ユニット。

【請求項 2】

前記可動装飾片は、前記開放位置にあるときには前記遊技盤上の可視領域から退避しており、前記近接位置にあるときには該可視領域内に進入することを特徴とする請求項 1 に記載の装飾体ユニット。

【請求項 3】

前記各開閉片の前面には、前記主装飾部材の前面に描かれた図柄とマッチングする図柄、或いは / 及び、文字が描かれていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の装飾体ユニット。

【請求項 4】

前記開閉片の一部又は全部を透光材料により構成したことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか一項に記載の装飾体ユニット。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載の装飾体ユニットを備えたことを特徴とする遊技盤。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の遊技盤を備えたことを特徴とするパチンコ遊技機。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、パチンコ遊技機を構成する遊技盤面上において種々動作することによって遊技進行上特徴的な演出効果を発揮するように構成された装飾体を備えた装飾体ユニット、遊技盤、及びパチンコ遊技機に関する。

【背景技術】**【0002】**

パチンコ遊技機においては、遊技盤の盤面に入賞口、風車、図柄表示装置、電飾装置等の各種盤面部品を設けて遊技内容の多様性を図っている。例えば、遊技の進行中における入賞、その他の状況変化を契機として可動盤面部品（装飾体）を種々の方向に動作させることにより演出効果を高めている。

例えば、遊技盤に設けられた始動入賞口に遊技球が入賞すると、遊技盤中の図柄表示装置に表示される図柄が変動を開始し、所定時間経過後に停止した図柄が予め定めた大当たり図柄となった場合に大当たり状態となり、遊技者が大量の出球を獲得できるようになっている。このような遊技機では、遊技の興趣を高めるために様々な表示演出が行われる。

例えば、特許文献 1 には、大当たりになると図柄表示装置の表示内容に連動して役物を左右に動作させる構成が開示されている。また、特許文献 2 には、図柄が所定の組合せになると、役物を遊技盤の前後方向に移動させる構成が開示されている。

【特許文献 1】特開 2 0 0 4 - 1 9 5 0 8 4 公報

【特許文献 2】特開平 0 6 - 0 0 7 5 0 9 公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 3 】

以上のように従来の可動盤面部品を進退動作させる機構にあっては、左右方向、或いは前後方向に単純に動作させたり、遊技盤面外にあった盤面部品が盤面内に出現するという程度の単純な変化に過ぎないため、可動盤面部品の動作量や動作タイミングに変化を付与したとしても変化に乏しい内容となり易く、遊技者に退屈感を与え、興趣を低下させるという問題があった。

10

本発明は上記に鑑みてなされたものであり、可動盤面部品（装飾体）を、静止、或いは単純動作する本体部分と、本体部分に付設されて出沒、開閉動作することにより可動盤面部品の全体形状に大きな変化を与える可動装飾部材、及び開閉機構と、から構成した装飾体ユニット、遊技盤、及びパチンコ遊技機を提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 4 】

上記目的を達成するため、請求項 1 の発明に係る装飾体ユニットは、遊技盤上に沿って配置された装飾体を備えた装飾体ユニットであって、前記装飾体は、前記遊技盤面上に配置された主装飾部材と、前記主装飾部材の外径方向に配置された可動装飾部材と、前記主装飾部材の背面側に退避した閉止位置と外径側に突出した開放位置との間を開閉自在に支持された開閉片を備えた開閉機構と、を備え、前記可動装飾部材は、複数の可動装飾片、及び該可動装飾片を駆動する駆動機構から成り、前記複数の可動装飾片は、遊技盤面と並行な方向へ開閉自在に軸支され、閉止位置にある時に前記主装飾部材に近接し、開放位置にある時に前記主装飾部材から離間した位置にあり、前記駆動機構は、前記 2 つの可動装飾片を閉止方向へ付勢する弾性部材と、該 2 つの分割可動装飾片を開放位置にてロックすると共に、ロック解除時に前記 2 つの可動装飾片を前記弾性部材の付勢力により閉止位置に移動させるロック手段と、を有していることを特徴とする。

20

主装飾部材の外径方向に配置した可動装飾部材が内外径方向へ進退、出沒するため、主装飾部材の形状が大きく変化した印象を与え、遊技内容に変化をもたらすことができる。のみならず、主装飾部材の背面側に配置した開閉機構が作動すると開閉片が開閉動作するので相乗効果により意外性を有した遊技内容を演出することができる。開閉片の開放時には、主可動部材の面積が急に拡張したような意外性を有した演出が可能となる。特に、主可動部材の前面に描かれた図柄等と関連性のある絵柄、或いは関連性のない図柄等を各開閉片の前面に設けておくことにより、開閉片の開放によって主装飾部材全体の形状を拡大して見せたり、紋章の全体のイメージを大きく変化させることができる。装飾体は、遊技盤面の前方に配置される場合と、遊技盤面に設けた開口内、或いは開口の後方に配置される場合がある。更に、遊技盤がアクリル盤等の透明な材料から構成される場合には、遊技盤面の後方に装飾体が配置される場合もある。

30

請求項 2 の発明に係る装飾体ユニットは、請求項 1 において、前記可動装飾片は、前記開放位置にあるときには前記遊技盤上の可視領域から退避しており、前記近接位置にあるときには該可視領域内に進入することを特徴とする。

40

【 0 0 0 5 】

請求項 3 の発明に係る装飾体ユニットは、請求項 1 又は 2 において、前記各開閉片の前面には、前記主装飾部材の前面に描かれた図柄とマッチングする図柄、或いは / 及び、文字が描かれていることを特徴とする。

開閉片は前面に文字、図柄を描いたものであり、この開閉片を開放状態に移行させた場合には主装飾部材の前面に描かれた絵柄の外周縁に沿って飾りが付加された状態となるので、主装飾部材の面積が拡大すると共に、異なった形状に変化する。このため、形状の拡大変形により、遊技者は変化に富んだ演出を堪能することができる。

請求項 4 の発明に係る装飾体ユニットは、請求項 1 乃至 3 の何れか一項において、前記

50

開閉片の一部又は全部を透光材料により構成したことを特徴とする。

また、開閉片の全部、又は一部を透明、或いは半透明の透光材料により構成したり、一部に貫通部を設けておけば、開閉片の開放時に背面側から照光することにより開閉片を発光させる電飾効果を発揮させることができる。

請求項 5 の発明に係る遊技盤は、請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載の装飾体ユニットを備えたことを特徴とする。

請求項 6 の発明に係るパチンコ遊技機は、請求項 5 に記載の遊技盤を備えたことを特徴とする。

【発明の効果】

【0006】

以上のように本発明によれば、可動盤面部品（装飾体）を、静止、或いは単純動作する主装飾部材と、主装飾部材に付設されて主装飾部材に対して出没、開閉動作することにより盤面部品の全体形状に大きな変化を与える開閉機構と、から構成した装飾体ユニット、遊技盤、及びパチンコ遊技機を提供することができる。即ち、主装飾部材の外径方向に配置した可動装飾部材が内外径方向へ進退、出没するため、主装飾部材の形状が大きく変化した印象を与え、遊技内容に変化をもたらすのみならず、主装飾部材の背面側に配置した開閉機構が作動すると開閉片が開閉動作するので相乗効果により意外性を有した遊技内容を演出することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0007】

以下、本発明を図面に示した実施の形態により詳細に説明する。

図 1 は、本発明の実施形態に係るパチンコ遊技機の一例を示した全体正面図である。

この図に示すパチンコ遊技機 1 は、矩形形状の枠 2 を有し、この枠 2 の窓孔に対して裏側から遊技盤 3 が着脱可能に取り付けられている。

遊技盤 3 の前面側には、図示しないガラス枠が開閉可能に取り付けられている。また遊技盤 3 の下部には遊技球を貯留する受け皿部 4 と、受け皿部 4 内の遊技球を発射する発射レバー 5 等が設けられている。また、受け皿部 4 の上部には遊技機用ボタンスイッチや、遊技球の購入ボタン、購入取り消しボタンが設けられている。

遊技盤の裏面には、液晶画面、主制御基板とサブ制御基板等、遊技の進行、演出に関わる裏部品を組み付けた合成樹脂製の機構板（何れも図示せず）が開閉自在に装着されている。遊技盤 3 における遊技領域 3 a の周囲には、発射レバー 5 を操作することにより発射装置から発射された遊技球を遊技領域 3 a の上部に案内したり、アウト口 1 5 に案内する外レール R 1、及び内レール R 2 が設けられている。

遊技盤 3 のほぼ中央部には開口部 6 が設けられ、開口部 6 の内部には画像表示装置 7 が配置されている。画像表示装置 7 は、例えば、液晶表示装置等の液晶表示パネルによって構成され、通常動作状態の時は、図示しない特別図柄画像が表示される。また、いわゆる特別遊技状態の時は、特別遊技状態であることを示す演出画像等が表示される。

【0008】

開口部 6 の下方には、画像表示装置 7 の特別図柄を可変表示させるための可変入賞装置 8 が設けられている。

開口部 6 の左右両側には夫々遊技盤 3 の盤面上を流下する遊技球を受けるステージ部 9 が設けられている。ステージ部 9 に案内された遊技球のうち、ステージ部の所定の入口に入った遊技球は、始動入賞口 1 1 の真上に位置する出口から遊技盤面へと出て始動入賞口 1 1 に入賞し易くなり、残りの遊技球はステージ部 9 上から落下し、多くの場合始動入賞口 1 1 に入賞しない。

また、開口部 6 の左側には、遊技盤の右下部に配置された図示しない普通画像表示装置に表示される普通図柄を作動させるためのゲート 1 3 が設けられている。さらに可変入賞装置 8 の下方には、特別遊技状態の一つである大当たり状態のときに開成状態になる開閉扉を有する大入賞口 1 4 が設けられている。

遊技盤 3 には図示しない普通入賞口やアウト口 1 5 等が設けられていると共に、風車や

10

20

30

40

50

図示しない多数の遊技釘が突設されている。遊技釘は、遊技球の落下速度を遅くすると共に、落下方向を複雑に変化させて遊技進行上の興趣を高めている。

【 0 0 0 9 】

普通図柄表示装置に表示される普通図柄は、1個または複数個の図柄を変動表示可能であり、普通図柄始動口としてのゲート13が遊技球を検出することを条件に、その図柄が乱数制御等により所定時間可変して停止するようになっている。

普通図柄としては、数字図柄、アルファベット図柄、キャラクター図柄、その他の適宜の遊技図柄が使用される。そして、ゲート13を遊技球が通過したことを条件に乱数制御により普通図柄が所定態様となった場合に、可変入賞装置8に設けられた電動式チューリップから成る可動片を所定時間、開成動作するように構成されている。

画像表示装置7に表示される特別図柄は、停止図柄が予め定められた図柄の組合せ、例えば同一図柄の組合せとなった場合に大当たり状態となるように構成されている。また特別図柄は可変入賞装置8の始動入賞口、又は電動式チューリップの開成動作により遊技球が誘導される下始動口（図示していない）において遊技球を検出することを条件に乱数制御等により表示がスクロールする等、所定の変動パターンで所定時間変動（可変）して図柄で停止するようになっている。その際、有効ライン上に2個の停止図柄が同一となった場合に、リーチ状態が発生し、このリーチ状態において、有効ライン上の最後の停止図柄が既に停止している2個の図柄と同一となった場合に大当たり状態が発生する。なお、特別図柄としては、数字図柄、アルファベット図柄、キャラクター図柄等が使用可能である。

画像表示装置7の上方には、可動役物20と、本発明に係る装飾体ユニット30が配置されている。

可動役物20は、「水戸黄門」という文字を象った部材からなり、また、装飾体ユニット30は、三つ葉葵の紋章を象った正面視円盤状の構成を有している。

【 0 0 1 0 】

図2(a)及び(b)は可動役物が閉止した状態、及び開放した状態を夫々示す正面図である。可動役物20は、遊技盤3の左右方向（幅方向）に往復移動可能であり、互いに接近、離間する左右一对の開閉部材21、22からなる。左側の開閉部材21は「水戸」の文字部材からなり、右側の開閉部材22は「黄門」の文字部材からなる。可動役物20は、非作動時（全閉時）には、図2(a)に示すように、一对の開閉部材21、22が接近した状態となり、また、作動時（全開時）には、図2(b)に示すように、一对の開閉部材21、22が離間した状態となる。また、一对の開閉部材21、22は、単に全開状態と全閉状態の2つの態様をとるのみでなく、小刻みに開方向への移動と閉方向への移動を交互に繰り返す動作をとる場合もある。

【 0 0 1 1 】

図3(a)及び(b)は本発明の一実施形態に係る装飾体ユニット（閉止状態）の全体構成を示す斜視透視図、及び装飾体ユニットの背面斜視図であり、図4(a)及び(b)は上記装飾体ユニットの閉止状態を示す正面図、及び背面図であり、図5(a)及び(b)は上記装飾体ユニットの開放状態を示す正面図、及び背面図であり、図6は装飾ユニットの側部構成説明図であり、図7は装飾ユニットの駆動機構の正面図、図8は装飾ユニットの駆動機構の背面側分解斜視図であり、図9(a)及び(b)は装飾ユニットの駆動機構の構成及び動作を示す背面図であり、図10(a)及び(b)装飾ユニットの駆動機構の構成及び動作を示す背面側斜視図であり、図11は装飾ユニットの駆動機構の構成を示す側部説明図である。

装飾体ユニット30は、遊技盤3の盤面上に配置されて正面に三つ葉葵の紋章を象った装飾体31と、装飾体31を駆動するための開閉機構70と、を備えている。装飾体31は、遊技盤面の前方に配置される場合と、遊技盤面に設けた開口内、或いは開口の後方に配置される場合がある。更に、遊技盤がアクリル盤等の透明な材料から構成される場合には、遊技盤面の後方に装飾体31が配置される場合もある。

なお、装飾体ユニット30は、遊技盤3に組み込み可能なユニットとして構成している

ために、額縁形の支持部材 A 内に組み込んだものとして図示されているが、支持部材 A は必須ではない。本例に係る装飾体ユニット 30 は、可動役物 20 の背後に配置されているが、配置場所はこれに限定されるものではない。

【0012】

装飾体 31 は、遊技盤 3 面上に静止可能な主装飾部材 32 と、静止状態にある主可装飾部材の外径方向に配置されて内外径方向へ進退する可動装飾部材 40 と、静止状態にある主装飾部材 32 の背面側に隠蔽された閉止位置と外径側に突出した開放位置との間を開閉自在に構成された開閉片 75 を開閉させる開閉機構 70 と、を備えている。

主装飾部材 32 は前後、上下、左右、任意の方向に可動に構成してもよいし、固定配置した構成としてもよい。

可動装飾部材 40 は、複数（4 個）の可動装飾片 41A、41B、42A、42B、及び各可動装飾片 41A、41B、42A、42B を駆動する駆動機構 50 を備えている。

上側の可動装飾片 41A、41B と、下側の可動装飾片 42A、42B は、支持部材 A に設けた軸部 43、44 により夫々一端部を軸支されて遊技盤面と並行な方向へ開閉し、各可動装飾片は閉止位置にある時に主装飾部材 32 に近接し、開放位置にある時に主装飾部材から離間した位置にある。上側の可動装飾片 41A、41B、及び下側の可動装飾片 42A、42B は、何れも基端部側に操作片 45、46 を一体化されており、操作片間に跨って配置された各弾性部材（トーションバネ）51、52 によって各可動装飾片は閉止方向へ弾性付勢されている。また、上側の可動装飾片 41A、41B、及び下側の可動装飾片 42A、42B は、図示しないモータ等の駆動源からの駆動力により作動する駆動部材によって弾性部材 51、52 に抗して開放動作するように構成されている。

【0013】

駆動機構 50 は、一对の可動装飾片 41A、41B と、一对の可動装飾片 42A、42B を夫々閉止方向へ付勢する弾性部材 51、52 と、各可動装飾片対を開放位置にてロックすると共に、ロック解除時に各可動装飾片対を弾性部材 51、52 の付勢力により閉止位置に移動させるロック手段 53、54 と、を有している。

両ロック手段 53、54 は、構成が同一であるため、以下においては一方のロック手段 53 についてその構成及び動作を説明する。

図 8、図 10、図 11 に示したように、ロック手段 53 は、支持部材 A に固定される二枚の板から成るベース部材 55 と、両ベース部材 55 に形成された軸穴 55a 間に差し渡された回動自在な回動軸 56 と、回動軸 56 の中間部に一端を一体化されて上方に延びるレバー 57 と、レバー 57 先端にプランジャ 58a を係合させてレバー 57 を前後方向へ回動させるソレノイド（駆動源）58 と、回動軸 56 と一体化されて下方へ延びる板状のロック解除片 59 と、ベース部材 55 の下部に固定された二個の中空円筒状のバネ収容体 60 と、各バネ収容体 60 内に配置されたコイルバネ 61 と、各バネ収容体 60 を軸方向に貫通し各コイルバネ 61 によって軸方向前方へ弾性付勢される進退軸 62 と、両進退軸 62 の前端部間に差し渡し固定された円弧状のロック片 63 と、両進退軸 62 の後端部間に差し渡し固定されたロック被解除片 64 と、を備えている。

【0014】

ロック解除片 59 の下部は、ロック被解除片 64 の前方側において両進退軸 62 間に入り込んでおり、ソレノイドのオンオフによりロック被解除片 64 を後方（ロック解除方向）へ退避させたり、ロック被解除片 64 を前方へ突出させるように構成されている。コイルバネ 61 に抗してロック解除片 59 がロック被解除片 64 を後方へ押圧した場合にロック片 63 は後方へ退避して両可動装飾片 41A、41B に干渉しない状態となるため、両可動装飾片 41A、41B は閉止位置に移動することが可能となる。また、ロック被解除片 64 に対する後方への押圧が解除されたときにはコイルバネ 61 の力によりロック片 63 が前方へ突出して両可動装飾片 41A、41B を開放状態にロックし得る状態となる。

ロック片 63 は、後方へ退避しているときには両可動装飾片 41A、41B から後方へ突出した係止ピン 47 から離間しているため、両可動装飾片 41A、41B は弾性部材 51 の付勢力によって図 4（a）（b）、図 7、図 9（a）に示した閉止位置に移動してい

10

20

30

40

50

る。一方、ロック片 63 が前方へ突出しているときには両可動装飾片 41A、41B から後方へ突出した係止ピン 47 をロック片 63 の両端部により係止できるため、両可動装飾片 41A、41B は図 5 (a) (b)、図 9 (b) に示した開放位置に保持される。

両可動装飾片 41A、41B が閉止位置にあるときには、ソレノイド 58 の作動 (プランジャ 58a の突出) により進退軸 62 はコイルバネ 61 の付勢力に抗して後方へ退避しているため、進退軸と一体のロック片 63 は破線で示した後方に位置しており、両可動装飾片 41A、41B の係止ピン 47 と干渉しない。この際、ソレノイドからの力 (プランジャ 58a の突出力) によりロック被解除片 64 を当該後方位置に保持し続ける。このとき、ロック解除片 59、及びレバー 57 は回動軸 56 を中心として上部を前方へ回動させた状態にある。

10

【0015】

一方、図示しない駆動部材によって可動装飾片 41A、41B が開放動作した場合には、ソレノイド 58 によりプランジャ 58a を引っ込めることにより、後方へ退避していたロック片 63 はコイルバネ 61 の付勢力により前方へ突出し、ロック片 63 が前方へ突出した際には各可動装飾片 41A、41B に設けた係止ピン 47 を図 9 (b) のように係止するため、駆動部材からの駆動力が解除された後も可動装飾片 41A、41B を開放状態に係止 (ロック) することができる。図 11 中の実線で示した状態は、ロック片 63 が両可動装飾片 41A、41B を開放状態にロックした状態であり、鎖線で示した状態は両可動装飾片 41A、41B を閉止させた状態である。実線で示した開放状態にロックした状態において、ソレノイドのプランジャ 58a を突出させるとレバー 57、ロック解除片 59 が鎖線位置に移動してロック片 63 を後方へ退避させるため、ロックが解除されて両可動装飾片 41A、41B は閉止位置に戻る。

20

なお、ソレノイド 58 によりレバー 57 を進退させる方向は図示と逆方向であってもよい。また、ロック片 63 を作動させる手段 (駆動源) としては、モータを利用してもよい。

各分割可動装飾片 41A、41B、42A、42B は、例えば主装飾部材 32 から外径方向へ離間した位置にあるときには遊技盤 3 上の可視領域から退避しており、近接位置にあるときには該可視領域内に進入するように構成する。

【0016】

次に、図 12 (a) 及び (b) は主装飾部材 32 の背面側に配置された開閉機構 70 の構成を示す背面側斜視図、及び分解斜視図であり、図 13 (a) 乃至 (c) は開閉機構の動作説明図である。

30

開閉機構 70 は、支持部材 A により固定的に支持され複数 (3 個) の円弧状のガイドスリット 72 を周方向に等間隔で配置した円盤状のベース部材 (固定) 71 と、ベース部材 71 の前面側に配置され各ガイドスリット 72 内に挿通されるピン 76 を一体化した 3 枚の開閉片 75 と、ベース部材 71 の各ガイドスリット 72 から後方へ突設された各ピン 76 を挿通する長穴 81 を 120 度間隔で配置した作動板 80 と、作動板 80 の中心部に出方軸 86 を固定し且つ支持部材 A により固定されたモータ 85 と、を備えている。ベース部材 71 は支持部材 A に固定されて回転しない一方で、その前面側に 90 度間隔で突設したピン 73 を各開閉片 75 の凹状の内周縁 75a に係合させている。作動板 80 はモータにより回転駆動される。長穴 81 内に嵌合したピン 76 の先端には抜け落ち防止部材 76a が固定される。

40

【0017】

ベース部材 71 を支持部材 A に固定した状態でモータ 85 を駆動して出力軸 86 を正転、又は逆転させると、作動板 80 が回転し、作動板 80 の長穴 81 内に遊嵌した各ピン 76 がガイドスリット 72 に沿って進退するため、各開閉片 75 は各ピン 76 を中心として内外径方向へ回動する。この際、各開閉片 75 の内周縁 75a にはベース部材 71 から突設されたピン 73 が摺接しながらガイドするため、各開閉片 75 は一定の開閉軌道に沿って開閉動作することができる。各ピン 76 を中心とした各開閉片 75 の回動動作は、前方から見ると主装飾部材 32 の外周縁から内径側へ退避した状態と、外周縁の外径側へ突出

50

した状態との間で変形するように認識される。

【0018】

図13(a)は開放状態、(b)は中間状態、(c)は閉止状態を示している。

このため、開閉片の開放時(図13(a))には、主装飾部材32の面積が急に拡張したような意外性を有した演出が可能となる。特に、主装飾部材32の前面に描かれた図柄等と関連性のある絵柄、或いは関連性のない図柄等を各開閉片の前面に設けておくことにより、開閉片の開放によって紋章全体の形状を拡大して見せたり、紋章の全体のイメージを大きく変化させることができる。

装飾体31を構成する開閉片75は前面に文字、図柄を描いたものであり、この開閉片を開放状態に移行させた場合には主装飾部材32の前面に描かれた紋章の外周縁に沿って飾りが付加された状態となるので、紋章の面積が拡大すると共に、異なった形状に変化する。このため、形状の拡大変形により、遊技者は変化に富んだ演出を堪能することができる。

10

【0019】

また、開閉片の全部、又は一部を透明、或いは半透明の透光材料により構成したり、一部に貫通部を設けておけば、開閉片の開放時に背面側から照光することにより開閉片を発光させる電飾効果を発揮させることができる。

また、画像表示装置7の画面上に表示される絵柄、文字等と、開閉片の形状や描かれた絵柄とを連携させることにより、バリエーションに富んだ演出効果を発揮させることができる。

20

なお、パチンコ遊技機の他の詳細な構成については図示説明していないが、本願発明の技術的範囲中にパチンコ遊技機、及び遊技盤が含まれることに疑いがない。

【図面の簡単な説明】

【0020】

【図1】本発明の実施形態に係るパチンコ遊技機の一例を示した全体正面図である。

【図2】(a)及び(b)は本発明の一実施形態に係る装飾体ユニットの正面図、及び背面図である。

【図3】(a)及び(b)は本発明の一実施形態に係る装飾体ユニット(閉止状態)の全体構成を示す斜視透視図、及び装飾体ユニットの背面斜視図である。

【図4】(a)及び(b)は装飾体ユニットの閉止状態を示す正面図、及び背面図である。

30

【図5】(a)及び(b)は装飾体ユニットの開放状態を示す正面図、及び背面図である。

【図6】装飾ユニットの側部構成説明図である。

【図7】装飾ユニットの駆動機構の正面図である。

【図8】装飾ユニットの駆動機構の背面側分解斜視図である。

【図9】(a)及び(b)は装飾ユニットの駆動機構の構成及び動作を示す背面図である。

【図10】(a)及び(b)装飾ユニットの駆動機構の構成及び動作を示す背面側斜視図である。

40

【図11】装飾ユニットの駆動機構の構成を示す側部説明図である。

【図12】(a)及び(b)は主装飾部材の背面側に配置された開閉機構の構成を示す背面側斜視図、及び分解斜視図である。

【図13】(a)(b)及び(c)は開閉機構の動作説明図である。

【符号の説明】

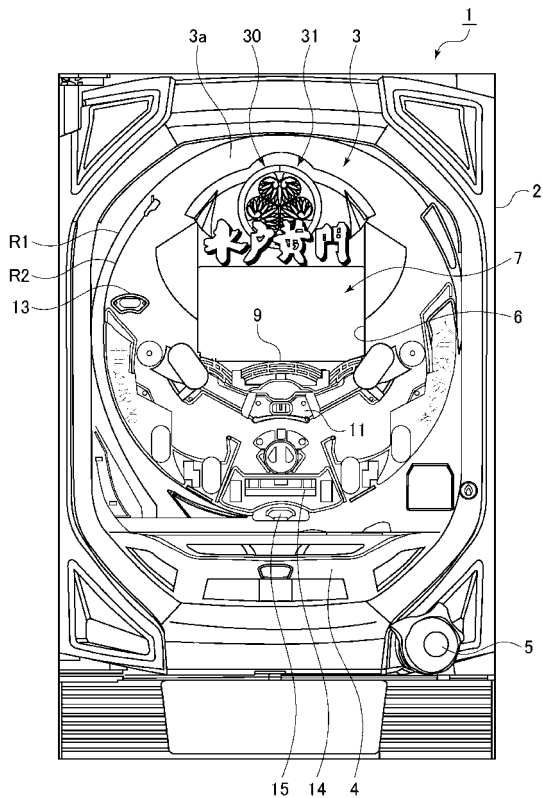
【0021】

1...パチンコ遊技機、2...枠、3...遊技盤、3a...遊技領域、4...皿部、5...発射レバー、6...開口部、7...画像表示装置、8...可変入賞装置、9...ステージ部、11...始動入賞口、13...ゲート、14...大入賞口、15...アウト口、20...可動役物、21...開閉部材、22...開閉部材、30...装飾体ユニット、31...装飾体、32...主装飾部材、40...

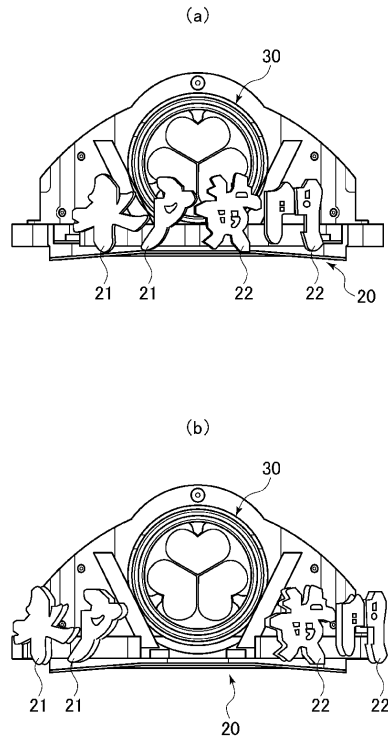
50

可動装飾部材、4 1 A ... 可動装飾片、4 2 A、4 2 B ... 可動装飾片、4 3、4 4 ... 軸部、4 5 ... 操作片、4 7 ... 係止ピン、5 0 ... 駆動機構、5 1、5 2 ... 弾性部材、5 3、5 4 ... ロック手段、5 5 ... ベース部材、5 5 a ... 軸穴、5 6 ... 回動軸、5 7 ... レバー、5 8 ... ソレノイド、5 8 a ... プランジャ、5 9 ... ロック解除片、6 0 ... パネ収容体、6 1 ... コイルバネ、6 2 ... 進退軸、6 3 ... ロック片、6 4 ... ロック被解除片、7 0 ... 開閉機構、7 1 ... ベース部材、7 2 ... ガイドスリット、7 3 ... ピン、7 5 ... 開閉片、7 5 a ... 内周縁、7 6 ... ピン、8 0 ... 作動板、8 1 ... 長穴、8 5 ... モータ、8 6 ... 出力軸

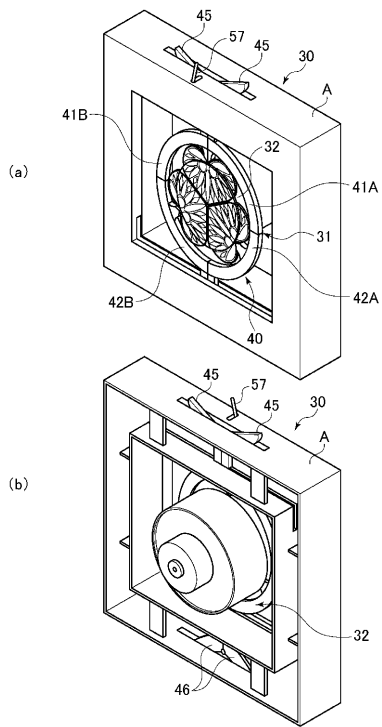
【図 1】



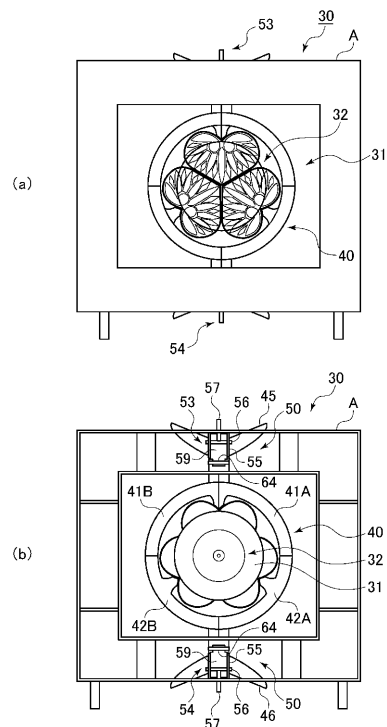
【図 2】



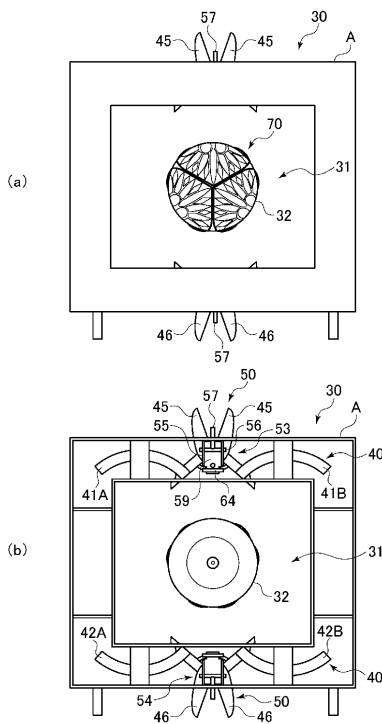
【図 3】



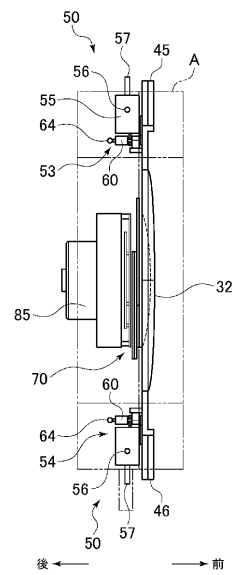
【図 4】



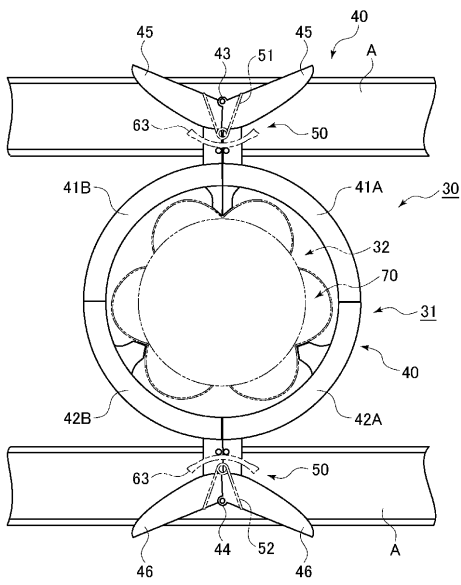
【図 5】



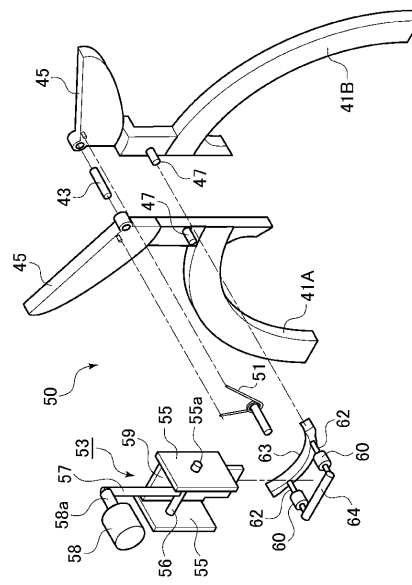
【図 6】



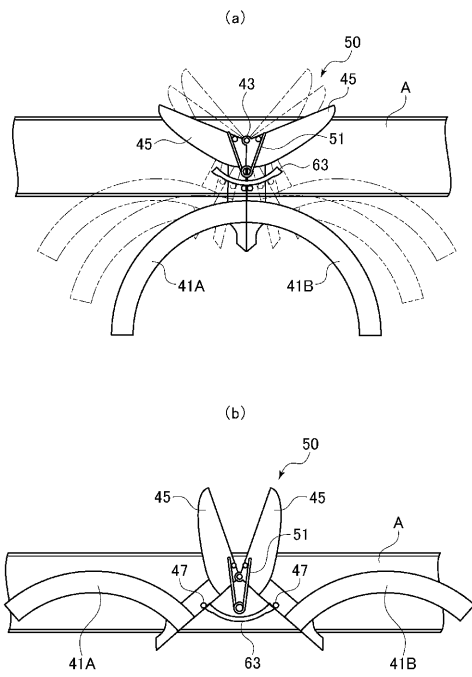
【図 7】



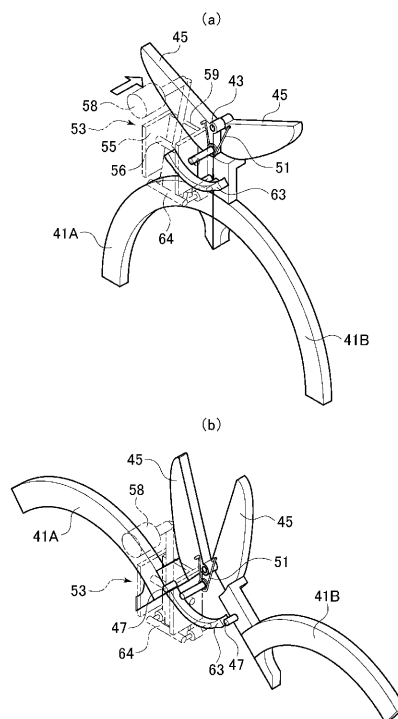
【図 8】



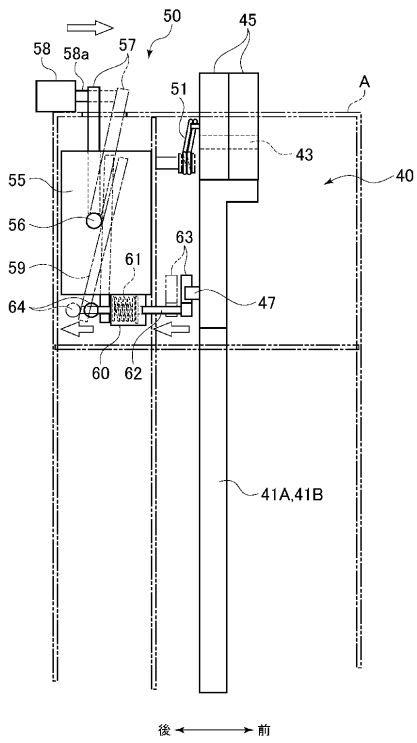
【図 9】



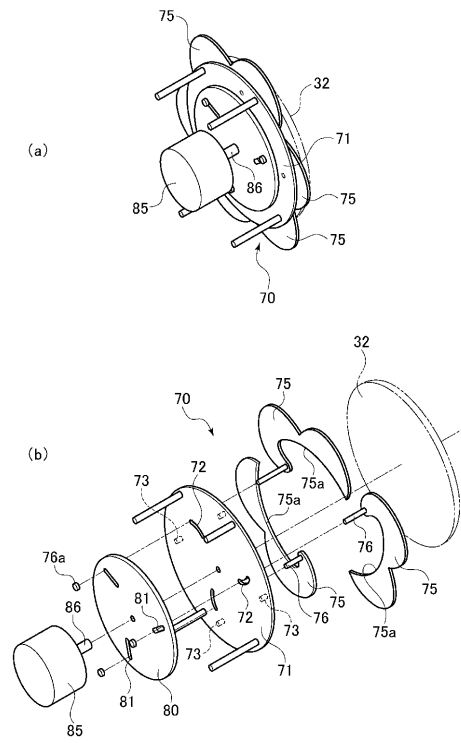
【図 10】



【図 1 1】



【図 1 2】



【図 1 3】

